

野々ニ今回ノ日印紡織聯合會ノ組織ハ、日本ノ政府代表、専ら印度ニ
 駐在印度總領事ニ出テ之イニテキル。
 之キハ政府代表ナリ。更ニ印度紡織聯合會ハ印度小賣同盟イノテ印度
 會社等ハ、印度政府會社等ニシテ之イノ又印度紡織聯合會ニ平次官連
 國業主連同、印度印内出外交ニ其副々來々ノシテス、印度紡織合
 會ハニ印度紡織聯合會ハ、其ノ日本印本買ニ其全々を組織マテキ、其
 ハシキ立立の勢ハノナリ。
 イニ其ニ印度紡織聯合會ハ其ノ日本印本買ニ其全々を組織マテキ、其
 時々其紡織業ハ其工業ニ其ノ日本印本買ニ其全々を組織マテキ、其
 其印資本家印織業ニ其ノ日本印本買ニ其全々を組織マテキ、其
 ノ利益ニ其ノ利益ニ其ノ利益ニ其ノ利益ニ其ノ利益ニ其ノ利益ニ其ノ利益
 其實績ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業ハ其業
 其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業
 其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業聯合會ハ其業

日印紡織聯合會ノ組織
 日印紡織聯合會ノ組織
 日印紡織聯合會ノ組織

對シテ、經濟封鎖ヲ以ツテ報復スベシトノ世界的輿論ヲ巧ニ捉ラヘ
 タ英印紡織資本家ノ陰謀ニ依ルモノデアアル。然シテソノ犠牲トナル
 モノハタゞニ日本ノ紡織労働者ノミナラズ、印度ノ労働者階級モマ
 タ物價騰貴ニヨル生活壓迫ヲ蒙ルモノデアアル。
 ソレ故ニ此ノ問題ノ對外策ハ、世界平和、自由通商、進歩的労働政
 策等ヲ標榜スル開明ナル態度デナクテハナラス。
 對内的ニハ、二割以上ノ株主配當ヲ續ケナカラ失業者ノ大量生産ニ
 ヨル租借不安ヲ増大セシメントスル暴舉ヲ、勞資協力ニヨル産業平
 和ニ改ムベキデアアル。
 若シ、ソレ吾々ノ意見ニ聽クナラバ吾ガ關西紡織産業労働組合ハ、
 内ニハ産業平和ニ協力シ、外ニハ英印労働組合ノ協力ヲ得テ英印紡
 織資本家ノ陰謀ヲ粉碎スルコトニ努力スルコトヲ敢テ辭スルモノデ
 ナイ。茲ニ日本紡織聯合會ノ反省ヲ求ムルト共ニ吾々ノ態度ヲ聲明
 スルモノデアアル。

日本労働總同盟
 關西紡織産業労働組合